

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：私立学校振興費

事業名【新】私立学校光熱費等支援交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 私学振興・青少年課

電話番号：058-272-1111(内4976)

私学助成係

E-mail：c11151@pref.gifu.lg.jp

1 補正要求額 115,126 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 予算額	115,126	0	0	0	0	0	0	0	115,126
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- 令和4年4月26日に政府がコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を閣議決定し、コロナ禍において直面する物価高騰による影響を緩和するための対応を緊急かつ機動的に実施することとされた。
- 同対策では、地方自治体がコロナ禍において原油価格や物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を実施できるよう、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充が図られ、同交付金により、事業者に対する電気・ガス料金を含む公共料金の支援を実施することが可能とされている。
- 5月26日に開催した「子ども・家庭支援に関する意見交換会」において、私学団体から、光熱費や冷暖房費が上昇している旨の意見があり、各私立学校へのアンケート調査でも、同様の報告があった。
- このため、私立学校に対する光熱費等の支援を行う。

(2) 事業内容

私立学校設置学校法人に対して、光熱費等（電気、ガス、冷暖房用燃料費）の支援を行うため、校種ごとに児童生徒1人当たり下記のとおり交付金を交付

- 幼稚園：2,360円、小学校：4,390円、中学校6,480円、高校（全日制）4,240円
高校（通信制）1,170円、専修学校4,600円、各種学校2,880円

(3) 県負担・補助率の考え方

電気、ガス代、冷暖房用燃料費の増加額を交付金として交付
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当予定

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	115,126	私立学校光熱費等支援交付金
合計	115,126	

決定額の考え方

支援の必要性を判断できるだけの現状の把握や分析ができていないこと、他県に比して高い水準で経常費の補助を実施していることから、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「第3次岐阜県教育ビジョン」における政策の目的
- 3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進
- 19 私立学校教育の振興

私立学校は、建学の精神と独自の教育理念に基づく特色ある教育活動を行っており、本県の学校教育において重要な役割を果たしていることから、私立学校が、特色と魅力のある学校づくりに向けて、児童生徒のニーズに応えられるよう支援していく。

(2) 国・他県の状況

- ・国は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用可能な事業として、事業者に対する燃料費、電気・ガス代の負担軽減を挙げている。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

私立学校助成事務は県の事務であり妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 私立学校に対して、光熱費、冷暖房用燃料費の支援を実施（単年度）

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

学校法人の申請に基づき、支援するものであり、設定困難

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	燃料価格や電気・ガス代は高騰しており、支援が必要
3	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	